

新たな年に期待を込めて 白鷹町新春賀詞交歓会

1月4日、J A山形おきたま白鷹支店を会場に「新春賀詞交歓会」が盛大に開催されました。

この賀詞交歓会は、新春を寿（ことほ）ぎ、町勢の一層の伸展を祈念することを目的とした催しであり、白鷹町での開催は初。産業振興戦略会議を構成している、白鷹町、商工会、J A山形おきたま、山形県酪農業協同組合、観光協会、一般財団法人白鷹町アルカディア財団を中心に実行委員会を組織し、準備が進められてきました。

この日は、町長をはじめ、町内外各界から約180人が出席。新年のあいさつを交わすとともに、町の現状、課題に目を向け、2016年の飛躍を誓い合いました。

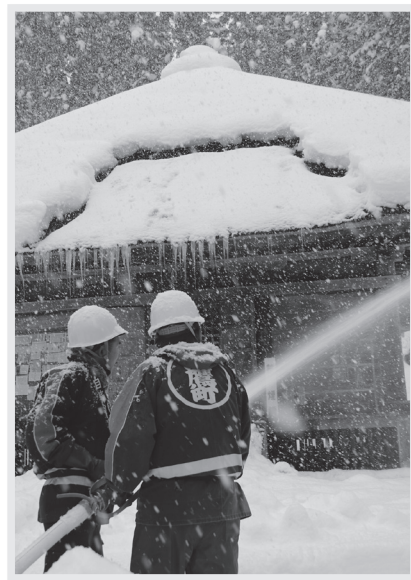


文化財防火デー 地域の宝を守るのは、地域の力

1月26日の「文化財防火デー（※）」に合わせ、1月24日に深山観音堂で防火訓練、26日に鮎貝八幡宮で防火祈願祭が行われました。

雪の降りしきる中で行われた深山観音堂での防火訓練には、深山観音堂自衛消防隊、深山区消防団、消防白鷹分署から合わせて約30人が参加。訓練は観音堂の火災報知機が作動するところから開始され、119番への通報、隊員への出動命令、放水、撤収までをすばやく行うとともに、その一連の流れをしっかりと確認しました。地域の宝は、こうして地域の皆さんによって守られ、後世へと伝えられていきます。

（※）文化財防火デー…昭和24年の1月26日に、世界最古の木造建造物である法隆寺（奈良県）の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基づき定められました。



願わくは無益息災・五穀豊穡 町内各地でヤハハエロ



1月10日から11日にかけて、町内各地でヤハハエロ（さいとう焼き）（※）が行われました。

各地区ごと正月に飾られた松や古いお札などが集められ、わらなどを使って斎塔（さいとう）を準備。ほとんど雪のない今年は、火の燃え移りなどが無いよう各地区消防団が例年以上に注意を呼びかけました。そして、日も暮れて辺りが真っ暗になったところに点火。集まった地域の人たちは天高く燃え盛る炎を見つめ、人の輪の中から「ヤハハエロ〜」と掛け声が飛ぶと、それに続いて各々が、今年一年良い年であるよう願いを込めて「ヤハハエロ〜」と続けました。

（※）ヤハハエロ（さいとう焼き）…昔から行われてきた、無病息災・五穀豊穡を願う小正月の行事。

